

平成28年度（2016年度）黒部市吉田科学館事業報告

1. 黒部市吉田科学館の基本方針 ※平成22年黒部市吉田科学館業務計画より

- ・ 楽しみながら自然と科学技術に対する関心と理解を深める場
- ・ 自然の神秘に感動し創造の喜びを知る場
- ・ 広く市民の科学・文化活動の場
- ・ 新しい教育方針に基づく教育補助活動の場
- ・ 市民参画による生涯活動の場

2. 事業コンセプト

「体で学ぶ科学館」をテーマとし、科学館職員が来館者に接することによって科学に基づいた知識を伝える。以下、3テーマについて業務を展開する。

内容	フレーズ	目的
日常の科学	作ってみよう	科学及びモノづくりに対する興味・関心を高める
地域の科学	行ってみよう	地域の自然と文化についての愛着と理解を深める
宇宙の科学	のぞいてみよう	天文学と宇宙技術への興味・関心を高める



3. 平成28年度（2016年度）の事業概要について

平成28年度、黒部市吉田科学館は開館30周年を迎え、その記念すべき年にプラネタリウムのリニューアルオープンが実現した。オープンから1週間（4/29～5/5）は、無料開放および特別投映プログラムにて実施し、市内外から沢山の来館があった。また、記念講演として、国立天文台の渡部潤一氏をお招きし、「宇宙の輪廻転生 私たちは星のかけら」と題してお話いただいた。

開館30周年記念事業では、開館記念日（6月19日）の無料開放の他、関係者をお招きしての記念式典の開催、30周年を振り返るパネル展の開催の他、科学を気軽に学ぶイベントとして「科学館まつり」を初開催した。

平成28年度のプラネタリウムの年間総観覧者数は23,997人、延べ利用者数は88,083人となり、開館30年間で最高を記録した。

4. 平成28年度（2016年度）の主な事業内容

■ 日常の科学

サイエンスショー（常時開催）



日常生活に関わりの深いテーマを楽しく解説する実験ショーを毎日開催した（平日1回、土日祝日3回、毎回15分程度）。

季節毎にテーマを変えながら開催しており、今年度は、「力のふしぎ」「光のふしぎ」「電気のふしぎ」の3つのテーマをもとにサイエンスショーを行った。また、地域の小学校の学習投映来館時にセットで見ってもらうケースが増えてきており、今後定着を目指していく。

（利用者数 7,773 人、実演回数 333 回）

■ 地域の科学

（1）展示事業

①企画展「クロベガメが泳いだ海」



開催期間：7月23日（土）～9月4日（日）

毎年夏に開催する特別展（企画展）では、黒部のことを知ってもらうため、地元の自然や文化をテーマに開催している。今年度は黒部市宇奈月地区から、1600 万年前のウミガメの化石が発見され、「クロベガメ」と名付けられた。この企画展では、「クロベガメ」を中心に、1600 万年前の世界の化石・地層にスポットをあて、地球環境について紹介した。

（観覧者数 6,993 人）

②常設展「恐竜の足跡化石」、「富山県の石」の展示



ジオパーク関連展示として「富山の恐竜足跡化石」の展示をエントランスホールに設置した。

また、5月10日に認定された「富山県の石、鉱物、化石」を認定直後に展示した。

（2）講座体験学習事業

ジオパーク自然教室の実施



黒部の自然について、水、雪、生物、化石などテーマを設けて、実物に触れる教室や、野外での観察会などの体験講座を7事業開催し、計717人が参加した。

（写真左 川の生き物たちと親しもう
写真右 黒部の雪を楽しもう）

3) 調査研究事業

① 自主研究

- ・オニックスマーブルの岩石学的研究（2年計画1年目）

オニックスマーブルは1mm以下の縞模様が発達する炭酸塩岩で、トラバーチンであることが予想されていた。しかし、いつの時代の岩石で、どのように形成されたかは全く分かっていなかったため、オニックスマーブル周辺の露頭からジルコンを抽出し、年代測定を行うとともに、地質調査を行った。その結果、オニックスマーブルは1億年前のものであることが分かった。

- ・来馬層群礫岩を用いた中生界テチス海—パンサラッサ境界付近の古地理学的研究（2年計画の1年目だったが、予定を変更し、再度研究計画を作成）

来馬層群は砂岩泥岩を主体とするが、下部の漏斗谷層から上部の楯谷層まで礫岩層が挟在している。これらを用いて、下部層から上部層まで、背後の地質帯の構成がどのように変化するかを推定した。

礫岩資料の収集までは進んだが、データを抽出する段階までは進めることができなかった。また、本研究の過程で日本最古となるベレムナイトを20個体発見した。

- ・朝日町—黒部市周辺の石器石材調査（2年計画1年目）

縄文時代の人々の資源収集範囲を推定するため、各遺跡の石器石材の調査を行った。少数の遺跡しか調査することができず、結論を見出せる段階には至っていない。

- ・黒部市内における中生代堆積岩の探索

（研究計画作成のための予備調査であり、研究継続年数は未定）

黒部川からはジュラ紀初期と思われる堆積岩の転石が得られる。これらの供給源を明らかにするため、黒部川上流域・尾沼谷の調査を行った。転石としてごくわずかに存在することは確認できたが、堆積岩の路頭を確認することはできなかった。

② 共同研究

- ・黒部川上流域の地熱開発に関する基礎研究（5カ年目の1年目）

電力中央研究所ほか、スペイン、オーストラリア、国内の3大学2研究所及び当館の共同調査として黒部川上流域の地質調査を行った。地磁気、花崗岩体の形成年代、などは結果が出つつある。

- ・来馬層群寺谷層におけるプリンスバキアン／トアルシアン境界の古環境学的研究（研究計画作成のための予備調査であり、研究継続年数は未定）

国立環境研究所、スコットランドアバディーン大学、当館の共同研究。地質の基礎調査及び生痕化石などの環境推定に重要な岩石類の採取が10%程度終了。

■宇宙の科学

(1) プラネタリウムドーム事業

プラネタリウムリニューアルをむかえた今年度は、投映回数計 823 回、総観覧者数 23,997 人となり、開館 30 年間で最高となった。

デジタルプラネタリウムの導入により、複数の番組を装填出来るようになったことを生かし、一般投映では毎日複数本の番組を投映し、来館者の年齢や好みに合わせて、番組を選択してもらえようとしている（平日 2 本、土日祝日は 3～4 本の番組を投映）。

①一般投映（観覧者数 22,546 人）

「ハレー彗星が来る年に」（ファミリー層向け番組）

（黒部市吉田科学館オリジナル番組・平成 28 年度制作）

期間：平成 28 年 7 月 23 日～平成 29 年 1 月 15 日

内容：科学館開館年（1986 年）の天文現象「ハレー彗星」をテーマにしたファンタジー。

※開館 30 周年記念番組

「ブリすけの冒険～ぼくらの富山湾を守れ！～」（ファミリー層向け番組）

（黒部市吉田科学館オリジナル番組・平成 20 年度制作）

期間：平成 29 年 1 月 18 日～平成 29 年 7 月 21 日

内容：富山湾を舞台に、環境問題への喚起を呼びかけた番組。また、富山湾特有の自然現象についても解説した。

「今夜の星空案内&3D宇宙体験」

期間：通年

内容：今夜の星空の紹介と 3D による宇宙解説の両方を、光学式プラネタリウム及びデジタル式プラネタリウム（M i t a k a）を使って、職員が全編生解説で投映する。

「E T E R N A L R E T U R N いのちを継ぐもの」（一般向け・科学番組）

期間：平成 28 年 4 月 29 日～平成 29 年 4 月 28 日

内容：宇宙の誕生、太陽や地球の誕生、そしていのちが生まれるまでを、美しいCG映像で描いた作品。

「妖怪ウォッチ プラネタリウムは星と妖怪がいっぱい！」（子ども向け番組）

期間：平成 28 年 4 月 29 日～平成 29 年 4 月 28 日

内容：アニメ「妖怪ウォッチ」の登場人物と一緒に、星空や宇宙についてクイズ等を交えながら紹介する番組。

「アースシンフォニー 光と水が奏でる空の物語」（一般向け・ヒーリング番組）

期間：平成 28 年 10 月 19 日～平成 29 年 10 月 18 日（予定）

内容：オーロラ、流星群、雪や雲など、地球を包む大気が起こす現象を全天周で再現しながら、気候現象の発生する仕組みなどを紹介する番組。

②学習投映（観覧者数 1,451人）

幼稚園・保育園、小・中学校などの理科教育の一環として、学習投映を行った。小学4年生の学習投映、中学3年生の学習投映では、学習指導要領に基づいた内容を、職員による全編生解説で投映した。幼児投映では、夏の星空や七夕に関する物語を分かりやすく解説した。

(2) 調査研究事業

光学式・デジタル式投映機を活用したプラネタリウム番組の開発

・生解説番組

今年度より一般番組枠で全編生解説番組(今夜の星空案内&3D宇宙体験)の投映を開始した。新規導入したデジタル式プラネタリウムの機能を駆使して、今夜見える星空についての解説や、4次元デジタル宇宙ビューワM i t a k aを使った3Dでの太陽系、惑星などの解説を行う番組を制作した。天文に親しみをもってもらえる番組内容となるよう、今後も引き続き、番組内容の充実に取り組みたい。

・学習番組

今年度より全編生解説での学習投映を開始した。プラネタリウムソフト「ステラドーム・プロ」を活用して、より分かりやすい番組内容となるよう、学校の先生を対象にした説明会を開催し、その中でいただいた意見をもとに番組の制作に取り組んだ。

・デジタル式プラネタリウムを駆使した全天周番組

今年度よりデジタル式プラネタリウムを使ったオリジナル番組の制作を開始した。第一作目の「ハレー彗星が来る年に」では、デジタル式プラネタリウムに適した画像制作や音声編集の方法を研究し、併せて基本的なプログラミング技術の習得に努め、番組制作の工程の基礎作りを行った。

冬から投映している「ブリすけの冒険」では、過去に制作したスライド番組をデジタル番組へリメイクする制作方法を取り、全天周を使った表現や動きのある表現を取り入れることに留意しながら、番組制作の技術の向上を図った。



写真左 ハレー彗星が来る年に（平成28年度年制作）

写真右 ブリすけの冒険（平成20年度年制作）

■プラネタリウムリニューアルオープン関連事業

プラネタリウムのリニューアルオープンに際し、以下の関連事業を実施した。

- ・ 4月28日（木） プラネタリウムリニューアル式典
内容：関係者をお招きして、新しくなったプラネタリウムのお披露目会を行った。
- ・ 4月29日（金・祝） 記念講演「宇宙の輪廻転生 ―私たちは星のかけら―」
内容：国立天文台副台長の渡部潤一氏をむかえ、講演をしていただいた。
- ・ 4月29日～5月5日 プラネタリウムリニューアルオープン週間（一般公開開始）
内容：プラネタリウムリニューアルを記念して、プラネタリウムの無料開放を行った。
また、通常よりも投映回数を増やし、特別プログラムで実施した。
その他、工作教室、化石教室などの体験講座もあわせて開催し、来場者に楽しんでいた。



■黒部市吉田科学館 30周年記念事業

開館30周年を祝し、以下の記念事業を実施した。

- ・ 6月19日（日） 開館記念日の無料開放
内容：開館記念日である6月19日、プラネタリウムの無料開放を行った。
- ・ 7月22日（金） 30周年記念式典
内容：当館にゆかりある方々をお招きして記念式典を開催した。
- ・ 7月23日（土）～9月6日（日） 企画展「吉田科学館30年のあゆみ」
内容：黒部市吉田科学館の30年のあゆみをパネル展で振り返った。
- ・ 11月3日（祝・木） 「科学館まつり」の開催
内容：科学館の3つのコンセプトをテーマに、体験講座や講演会、プラネタリウム投映などを行った。
- ・ 30周年記念誌「黒部市吉田科学館30年のあゆみ」の刊行

平成28年度 黒部市吉田科学館 実績報告

日常の科学対象事業

事業名	期間	自/共	内容	平成27年度実績		平成28年度実績		前年比	
				回数	人数	回数	人数		
講座 体験学習事業	工作教室	毎月	自	親子工作教室	12回	377人	11回	386人	102.4%
			自	工作教室(学校行事等の利用)	12回	384人	16回	499人	129.9%
		常時	自	自由工作教室		581人		847人	145.8%
		4/30・5/1・3	自	プラバンキーホルダーづくり(リニューアルオープン企画)			3回	320人	
		8/13・14	自	プラ板でオリジナルストラップを作ろう(夏休みイベント)			2回	126人	
		7/31	自	おもしろ実験と科学工作を楽しむ会	1回	44人	1回	96人	218.2%
		12/24/25	自	クリスマスプラ板づくり			2回	49人	
		3/25	自	折り紙ヒコーキ工作教室&ギネスに挑戦	1回	100人	1回	200人	200.0%
		毎月	共	黒部少年少女発明クラブ	12回	373人	12回	308人	82.6%
			共	村椿科学工作クラブ	9回	88人	9回	77人	87.5%
		5/22	共	折り紙ヒコーキづくり体験(あこや~の共催)	1回	100人	1回	25人	25.0%
		2/26	共	クラブの集い(あこや~の共催)			1回	130人	
サイエンスショー	4/30~8/31	自	力のふしぎ		3,367人	119回	4,833人	143.5%	
	9/9~12/28	自	光のふしぎ		868人	118回	1,790人	206.2%	
	1/5~3/31	自	電気のふしぎ		—	96回	1,150人		
	6/18	共	YKKフェスティバル サイエンスショー			1回	174人		
	9/24・25	共	おもしろ科学実験in富山魚津大会			2回	120人		
展示事業	7/2~7/10	共	「魚津地区理科自由研究・発明くふう展参考展」	1回	525人	1回	1,599人	304.6%	
	9/9~9/22	共	第11回少年少女発明くふう展	1回	1,110人	1回	1,844人	166.1%	
	9/24~10/2	共	第11回黒部市小・中学校児童生徒科学作品展覧会	1回	464人	1回	1,023人	220.5%	
平成27年度 15'青少年のための科学の祭典(4年ごとに科学館で開催)				1回	657人				
のべ利用者数合計					9,038人		15,596人	172.6%	

※自/共…自主事業、共催事業の略

地域の科学対象事業

事業名	期間	自/共	内容	平成27年度実績	平成28年度実績	前年比
展示事業 常設・企画展 展等	7/23～9/4	自	企画展「クロベガメが泳いだ海」	7,526人	6,993人	92.9%
	6/26～7/9	共	巡回写真展「すばらしき朱鷺・動物写真展」	1,124人	2,022人	179.9%
	10/9～10/22	共	巡回写真展「花鳥風月と立山黒部ジオパークの水」	547人	888人	162.3%
	11/1～11/30	共	巡回写真展「すばらしい自然を」	1,970人	3,232人	164.1%
	1/7～2/5	共	佐伯邦夫写真展「風土」		938人	
	2/11～3/20	共	巡回写真展「富士フィルムフォトコンテスト」		1,983人	
	3/25～4/16	共	巡回写真展「富山県ナチュラリスト協会写真展」	1,383人	405人	29.3%
講座 体験学習 事業	5/4～5	自	ガーネットをみつけよう(リニューアルオープン企画)		2回 342人	
	8/15	自	富山の化石を持って帰ろう(夏休みイベント)		1回 175人	
	8/7	自	ジオパーク自然教室「川の生き物たちと親しもう」	1回 24人	1回 26人	108.3%
	10/22	自	ジオパーク自然教室「秋の野鳥観察会」	1回 27人	1回 13人	48.1%
	2/4	自	ジオパーク自然教室「黒部の雪を楽しもう」	1回 15人	1回 58人	386.7%
	6/26・7/30・8/28	共	化石教室(滑川市立博物館との合同開催)		3回 85人	
	7/31	共	黒部川水のコンサート&フェスティバル	1回 18人	1回 18人	100.0%
平成27年度			企画展「新幹線が黒部にやってきた」	1,823人		
			沢田みどり写真展「祝 北陸新幹線開業記念 鉄道写真展」	939人		
			ジオパーク自然教室「春の野鳥観察会」	1回 28人		
			化石関連事業	3回 97人		
			日本地質学会 中部支部年会	1回 46人		
			ジオパークリレー講演会	2回 46人		
			くろべ牧場 雪まつり	1回 24人		
のべ利用者数合計				15,637人	17,178人	109.9%

※自/共…自主事業、共催事業の略

宇宙の科学対象事業

事業名	期間	自/共	内容	平成27年度実績	平成28年度実績	前年比
プラネタリウムドーム事業			一般投映および学習投映など(投映日数:255日) (大人:12,293人 高校・大学生:317人 子供:11,387人 合計:23,997人)	6,547人	823回 23,997人	366.5%
			◆一般投映	5,327人	217回 22,546人	423.2%
	4/29～3/31	自	科学番組(ETERNAL RETURN -いのちを継ぐもの)		3,551人	
	10/19～3/31	自	ヒーリング番組(アースシンフォニー 光と水が奏でる空の物語)		40回 728人	
	4/29～3/31	自	子ども番組(妖怪ウォッチ プラネタリウムは星と妖怪がいっぱい!)	88回 1,306人	215回 10,616人	812.9%
	7/23～1/15	自	オリジナル番組(ハレー彗星が来る年に)	173回 2,668人	79回 956人	35.8%
	1/18～4/28	自	オリジナル再番組(プリすけの冒険 ～ぼくらの富山湾を守れ!～)	101回 1,353人	25回 160人	11.8%
	4/29～3/31	自	職員生解説番組		222回 6,535人	
	6/1～3/31		◆学習投映(小学4年生)	18回 706人	15回 775人	109.8%
	11/1～3/31		◆学習投映(中学3年生)	1回 89人	5回 424人	476.4%
7/1～3/31		◆幼児投映(幼児向け)	12回 425人	5回 252人	59.3%	
プラネタリウムの多目的利用	5/28・8/27・1/28・3/25	自	癒しのプラネタリウム	5回 149人	4回 171人	114.8%
	6/25・2/25	自	星空の下でアロマ自力整体		2回 43人	
	9/24・12/11	自	星と音楽の夕べ		2回 209人	
	10/22	自	マタニティプラネタリウム	2回 80人	1回 59人	73.8%
	11/23	自	熟睡プラ寝たリウム		1回 42人	
講座体験学習事業	第3土曜日	自	天文教室	10回 385人	12回 585人	151.9%
	4/29	自	渡部潤一氏講演会「宇宙の輪廻転生—私たちは星のかげら—」		1回 177人	
	7/23	自	全国同時七夕講演会2016「ETERNAL RETURNを読み解く」	1回 42人	1回 41人	97.6%
	4/30	自	大西浩次氏 星景写真教室		1回 23人	
	4/30	自	大西浩次氏 ギャラリートーク		1回 10人	
	7/9・8/6	自	初めての天体望遠鏡教室	5回 33人	2回 39人	118.2%
	7/23	自	親子で星空写真教室		1回 22人	
	8/19	共	くろべこども自然体験村(星空解説)		1回 64人	
	9/25・10/2	共	星空トロッコ	2回 118人	2回 71人	60.2%
	10/29	共	灯台まつり	1回 49人	1回 12人	24.5%
企画展等	4/29～6/19	自	大西浩次写真展「時空の断章」		15,181人	
平成27年度			プラネタリウムまつり	1回 935人		
			ちびっこプラネ	2回 41人		
			伊東昌市氏講演会(石田小学校対象)	1回 156人		
			吉田科学館オリジナル「プラネタリウム番組原画展」	1回 5,406人		
のべ利用者数合計				13,941人	40,746人	292.3%

※自/共…自主事業、共催事業の略

その他

事業名	期間	自/共	内容	平成27年度実績	平成28年度実績	前年比
科学館まつり	11/3	自	科学館まつり		1,280人	
展示事業	7/23～9/4	自	パネル展「吉田科学館30年の歩み」		6,993人	
その他	7/22	自	30周年記念式典		73人	
	7/22	自	30周年記念式典パーティー		55人	
			各部屋の利用等	4,568人	6,162人	134.9%
のべ利用者数合計				4,568人	14,563人	318.8%

※自／共…自主事業、共催事業の略

	平成27年度実績	平成28年度実績	前年比
日常の科学対象事業	9,038人	15,596人	172.6%
地域の科学対象事業	15,637人	17,178人	109.9%
宇宙の科学対象事業	13,941人	40,746人	292.3%
その他事業	4,568人	14,563人	318.8%
のべ利用者数計	43,184人	88,083人	204.0%
カウンター数	18,435人	39,648人	215.1%

▼教員研修・インターンシップの受入

1. 11年次教員研修の受入

研修期間	氏名	学校名
8/12～14	教諭 福田 有希子	富山県立滑川高等学校

2. インターンシップの受入

研修期間	氏名	学校名
8/10～15	追分 開斗	富山短期大学 経営情報学科
8/10～15	濱田 晃瑠	富山短期大学 経営情報学科

▼発表:中瀬公子

月日	演題	主催
6/6～8	全国大会 ～北海道釧路市こども遊学館～ 「プラネタリウムリニューアルについて」	日本プラネタリウム協議会
9/12	北陸プラネタリウムワーキンググループ研究会 「プラネタリウムリニューアルについて」	日本プラネタリウム協議会
10/20	富山県博物館協会 第25回理工・自然史系学芸員研修会 「プラネタリウムリニューアルについて」	富山県博物館協会 理工自然史系分科会

▼発表:久保貴志

月日	演題	主催
9/10～12	「オニックスマーブル」と呼ばれる岩石について	日本地質学会
3/8～10	「富山県の岩石」オニックスマーブルの岩石学的研究	炭酸塩コロキウム

▼講師派遣・連携協力状況:久保貴志

月日	内容	主催
通年	コアスタッフ・研修開催・世界ジオパークワーキンググループ・雑用 30回程度	立山黒部ジオパーク協会
通年	下道氏地質案内 全5回	黒部市美術館
5/18	北陸ジオ遊び「ヒスイ・オパールの産状」	天文鉱物愛好会(伊東昌市氏)
6/2	ジオパーク講座「川の石から地質を探る」	富山市
7月～11月	滑川こどもサミット「山・川・海から探る滑川」	滑川市
7月～8月	大人のための本気のおそび体験ツアー「太古の風景に耳を澄ます」	黒部市美術館・まいぶんKAN
9/18	富山の石「県の石」から日本の生い立ちを知る -県の石決定までの裏話-	富山歴史同好会
9/24	翡翠フォーラムin朝日町「ヒスイの岩石学」	野外調査研究所
9/30	小谷村文化財解説「日本初産出の小谷村ブルーオパールについて」	小谷村
10/1	スキルアップ研修「黒部地域の地質」	立山黒部ジオパーク協会
10/3	佐々木氏地質案内	黒部市美術館
10/12	朝日町公民館講座「笹川ノルディックウォークで地質見学」	朝日町中央公民館
10/15	水博&ジオツアー「愛本周辺の地質見学」	水博物館
10/22	「大家庄地区公民館講座」災害の根っこを考える -大家庄周辺の地形と地質-	大家庄地区自治会
12/7	日本黒部学会野外巡検「ジオ街道案内」	日本黒部学会
3/26	黒部峡谷ナチュラリスト研究会総会「県の石」から黒部の生い立ちを知る -地質を知って自然の繋がりを知る-	黒部峡谷ナチュラリスト研究会

▼執筆:久保貴志

月日	内容	発行元
7月	「下道基行展」 図録への寄稿	黒部市美術館
8月	「巨木が語る地球のリズム」(日本地質学会公報誌『ジオルジュ』)	日本地質学会
11月～12月	「地質学ってなんだろう」(北日本新聞『富山ゼミナール』全7回)	北日本新聞
通年	新聞掲載・新聞コメントなど 5件	

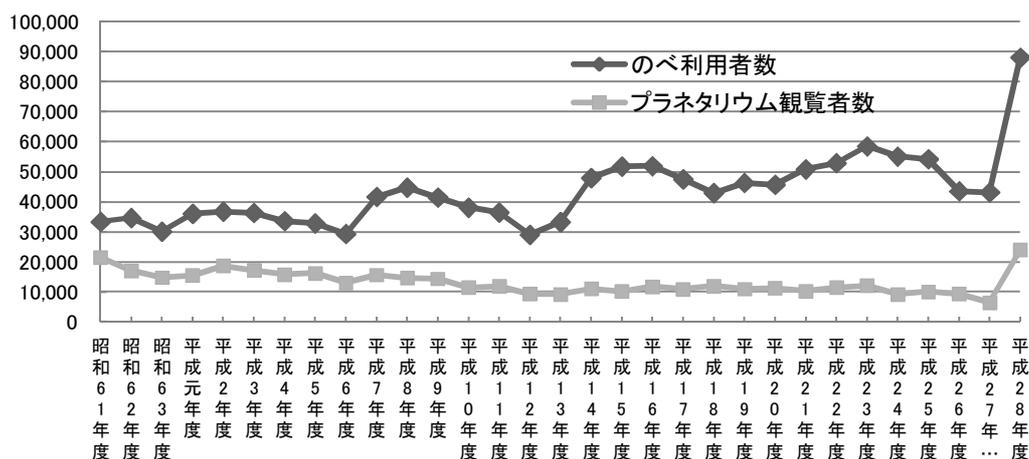
▼社会貢献・地域協力:久保貴志

アジア恐竜協会 理事

年度別のべ利用者数・観覧料

平成29年3月31日現在

年度	のべ利用者数	プラネタリウム観覧者数	観覧料
昭和61年度	33,373 人	21,449 人	2,534,760 円
昭和62年度	34,682 人	17,110 人	1,912,660 円
昭和63年度	30,121 人	14,853 人	1,735,050 円
平成元年度	36,053 人	15,582 人	1,736,390 円
平成2年度	36,783 人	18,768 人	1,815,630 円
平成3年度	36,359 人	17,200 人	1,889,240 円
平成4年度	33,644 人	15,868 人	1,777,740 円
平成5年度	32,871 人	16,262 人	1,969,790 円
平成6年度	29,366 人	13,106 人	1,643,780 円
平成7年度	41,719 人	15,700 人	2,828,590 円
平成8年度	44,777 人	14,695 人	2,619,250 円
平成9年度	41,504 人	14,426 人	2,461,120 円
平成10年度	38,144 人	11,554 人	2,008,150 円
平成11年度	36,511 人	11,949 人	1,840,800 円
平成12年度	29,068 人	9,365 人	1,494,100 円
平成13年度	33,355 人	9,264 人	1,380,130 円
平成14年度	47,963 人	11,131 人	1,243,230 円
平成15年度	51,829 人	10,188 人	1,131,060 円
平成16年度	51,968 人	11,780 人	1,308,510 円
平成17年度	47,581 人	10,989 人	1,184,940 円
平成18年度	42,987 人	12,055 人	1,278,840 円
平成19年度	46,363 人	11,021 人	1,161,270 円
平成20年度	45,745 人	11,252 人	1,156,490 円
平成21年度	50,913 人	10,297 人	1,099,110 円
平成22年度	52,937 人	11,515 人	1,275,300 円
平成23年度	58,520 人	12,171 人	1,448,160 円
平成24年度	55,131 人	9,287 人	1,015,470 円
平成25年度	54,252 人	10,081 人	1,075,710 円
平成26年度	43,574 人	9,414 人	1,129,050 円
平成27年度(12月～3月プラネタリウム休止)	43,184 人	6,547 人	695,280 円
平成28年度	88,083 人	23,997 人	1,984,410 円
合計	1,349,360 人	408,876 人	49,834,010 円
平成27年度	43,184 人	6,547 人	695,280 円
平成28年度	88,083 人	23,997 人	1,984,410 円
前年度比	204.0 %	366.5 %	285.4 %



行政官庁許認可報告事項

許認可報告年月日	許認可報告先	許認可報告事項
平成 28 年 6 月 30 日	富山県知事	平成27年度事業報告及び収支決算届
平成 28 年 12 月 10 日	富山県知事	理事改選による変更届出書
平成 29 年 3 月 31 日	富山県知事	平成29年度事業計画及び収支予算届

登記事項

登記記録に関する事項(役員の変更登記)

役職・氏名	就任もしくは退任日	登記変更日
理事 能澤雄二	平成 28 年 6 月 10 日退任	平成 28 年 11 月 10 日登記
理事 大西浩次	平成 28 年 6 月 10 日就任	平成 28 年 11 月 10 日登記
監事 福島啓之	平成 28 年 6 月 10 日退任	平成 28 年 11 月 10 日登記
監事 松田章	平成 28 年 6 月 10 日就任	平成 28 年 11 月 10 日登記

理事会議決事項

開催年月日	議決事項	備考
平成 28 年 5 月 26 日	1. 平成27年度事業報告及び収支決算について 2. 平成28年度第1回評議員会の開催について	役員(理事8名、監事2名)の内理事7名出席、監事1名出席 議案について全員一致で承認
平成 29 年 3 月 29 日	1. 平成29年度事業計画及び収支予算について	役員(理事9名、監事2名)の内理事9名出席、監事2名出席 議案について全員一致で承認

評議員会議決事項

開催年月日	議決事項	備考
平成 28 年 6 月 10 日	1. 平成27年度事業報告及び収支決算について 2. 公益財団法人黒部市吉田科学館振興協会理事・監事について	評議員3名の内、2名が出席 議案について全員一致で承認